

第5回いのち♥たいせつキャンペーン

～生きるということ～

チャリティー
イベント

ごあいさつ

毎年9月の自殺予防週間に開催してきた「いのち・たいせつキャンペーン」は今年5回目を迎えます。今回は「生きるということ」をテーマに「言葉」、「歌」、「音楽」を通して来場者・出演者も共に、優しい思いを共有できる3時間半になればと考えています。

4～5人に1人が一生のうちに1度は心のやまいに罹患するといわれています。心のやまいを正しく知り、自分や周囲の心の健康を見守ることは、心理的な孤立を防ぐ大きな力となります。人と人とが絆で結ばれ、すべての世代が心身ともに健やかに暮らすには、自分自身の持つ力にひとりひとりが気づき、無理なく活かしていくことも大切です。たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。



坂元 薫 東京女子医科大学 神経精神科教授

言葉

1956年生まれ。専門領域は気分障害、不安障害の臨床研究、臨床精神薬理。さまざまな講演や著書を通じて、広く心の病に対する「正しい知識の普及」に注力した啓発活動を行う。著書に『うつ病の誤解と偏見を斬る』（日本評論社）、『そのからだの不調、ホントはうつですよ』（平凡社新書）、『気分障害の臨床』（共著、星和書店）、『非定型うつ病』（監修、PHP研修所）など多数、監修CDに『メンタルヘルスクラッシュックス』（デラ）がある。TV出演に『NHK名医にQ』、『世界一受けたい授業』、ビートたけしの『本当は怖い家庭の医学』、『週刊健康からだの気持ち』、『皇室スペシャル』など多数。

ウタ



2007年結成。関西を中心に活動するシンガーソングライター寺尾仁志がディレクションする700名のsingers。楽曲は河口恭吾、平義隆、中西圭三、広沢タダシ、光永亮太などの日本のトップアーティストと制作を行い、ゴスペルをベースとしたクワイア（聖歌隊）スタイルで年齢、性別、職業を越えたメンバーと共に世界中にウタのタネをまいている。今までに共演をしたアーティストは谷村新司、中西圭三、夏川りみ、馬場俊英他多数。活動は国内にとどまらず、海外にまで広がりを見せている。

<http://www.human-note.com/>

あなたの歌声を会場に響かせませんか

8月22日(土)・29日(土)

ワークショップ

一般shingers募集

今回のイベントに合わせて作られた新曲を歌うshingersを募集しています。歌うのが大好きな方で、経験・年齢は問いません。和歌山市内で行う2回のワークショップに参加できる方。

場所 ダイワロイネットホテル和歌山
モンティグレ2F モンキースタジオ
〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁26番1

参加費 2000円(出演料+レッスン料2回分含む)
練習日に受付にてお支払い下さい。

原文のステージで
一緒に歌いましょう!

お申込みは E-mail: post@877.fm

「一般参加シンガー希望」お名前・メールアドレス・お電話番号をご記入ください。

ここさぽ アンサンブル

音楽

ピアノSASAGUを中心に、2015年結成。今回、和歌山県出身の岡本愛美をボーカルに迎え、ヴァイオリン山崎清花・チェロ藤原克匡と共に癒しの音楽を奏でる。



「生きるということ」

体験談：志田ひとみ

朗読：山本和子

1970年に5人でスタートした『和歌山グループ声』の会長を40年務め、ボランティアのパイオニアとして活動を行ってきました。現在は名誉会長として今なお朗読ボランティアを続けています。NHK放送劇団出身という経験を土台に、登場人物を目の前にいるかのようにリアルに語る語り口調には、80歳を超えても年齢を感じさせないパワーがあります。



総合司会：宇和千夏

「心のやまいを知ろう」（エフエム和歌山）でもおなじみ。「こころの安全パトロール隊員」のひとり。フリーアナウンサー。

NPO法人 心のSOSサポートネット

FAX: 050-3730-2286 E-mail: info@cocosapo.net <http://cocosapo.net>